



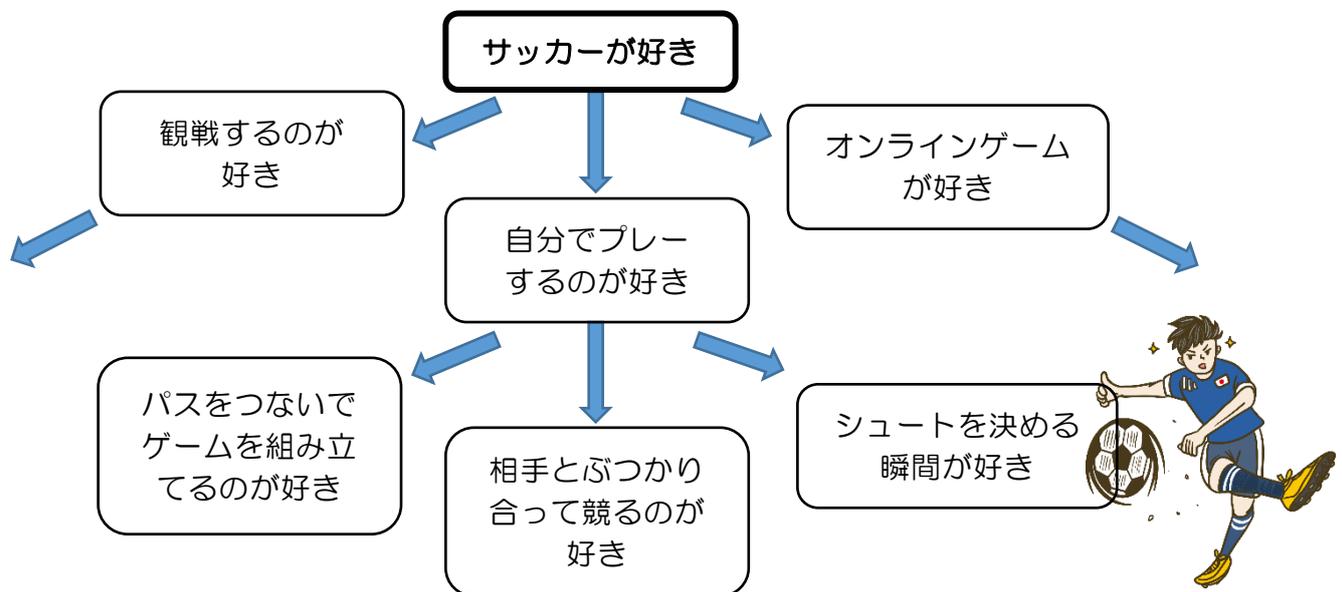
～年間聖句～「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章17節

## 「好き」を分解せよ

私たちは、「好き」という感情をもちます。それはどんな感じですか？ 「心がときめく」「楽しい」、もう少し具体的に「サッカーが好き」「ラーメンが好き」「友だちと歌うのが好き」「犬が好き」「明るい人が好き」などなど。

これらの「好き」は漠然とした表現にとどまっていることに気付いてください。

今回は、このように抽象的で漠然としていることを“分解する”ことをしてほしいということを書きます。なぜなら“分解する”ことが自分の力を発揮する助けになるからです。下のマップを見てください。



このように“分解する”と、「好き」の間に、ぼんやりと本質が浮かび上がってきます。それがわかったら、初めてのことに向き合う場面でも、“分解する”ことで自分がどうすれば楽しく過ごせるかが見えてくるでしょう。

例えば将来、進路を選択する時、「パスをつなぐのが好き」な人は、気の合う仲間と長く一緒に仕事することが向いているのかもしれませんが。一方、「シュートを決める瞬間が好き」な人は、契約をとってくる営業や企画の仕事に夢中になるかもしれません。

というわけで、「好き」を分解してみよう。なんとなく自分の本質に気付くことがあると思います。どんなことが自分にとって幸せを感じるのかなのか明らかになってくると思います。

また、「好き」なことでも夢中になる自分を想像してみてください。没頭している時は、「努力しなきゃ」という感じではないと思います。他者から見れば大変な努力をしているように思われるかもしれませんが、本人はそれを「努力」だとはあまり思っていない状態だと思います。これはある意味、最強の状態ではないでしょうか。時間も忘れてのめり込み、するとますます上達して、さらにその成果が世の中と折り合いがつかると才能として認められます。ある人はこのような現象を「努力の娯楽化」と言います。

**「好き」という感情は、何かが育つ可能性を秘めていると思います。**

これから先、人生の岐路に立って進路に迷うことがあれば、「好き」のスタートラインに立って、「好き」を分解してみて、「好き」を突き詰めると、「自分にとっての幸せ」や「自分ならではの生き方」を見つける助けになると思います。